(2) その他、特筆すべき教育・研究・診療・社会貢献活動等への取組と成果、世界的位置付けなど。(※評価年次報告「卓越した教育研究大学へ向けて」で報告する内容) 特筆すべき教育活動

宝衣	M	42	1
ਜ	=	10.	Ι.

特筆すべき研究活動

○ 未来医工学治療開発センター

次代の革新的な医療を推進するためのトランスレーショナルリサーチの実践の場として、本院に設置した全学組織のセンターです。センターにおいて、医療材料・医療機器・医薬品・再生医療等を対象とした基礎研究の成果を臨床試験へつなげ、企業等へのライセンスアウト等といった実用化までを総合的に支援する仕組みを構築した。

特筆すべき社会貢献活動等

○ 高度救命救急センター

宮城県、仙台市からの強い要望に基づき、平成18年10月に高度救命救急センターを東病棟1階に設置した。センターは、仙台市等の他の救命救急医療機関と連携をとりつつ診療機能を分担しながら、先進的高度救命救急医療を実践し、救急医療・救急医学研鑽の場を構築した。

○ 地域医療連携センター

地域連携強化に向けた取り組みとして、平成16年度に地域医療連携センターを設置した。他の医療機関からの患者の紹介をスムーズにするための予約システムの運用、退院への早期支援等、適切な医療を提供するために院内及び院外の関係機関(地域の保健・医療・福祉機関)等との密接な、また効率的かつ効果的な連携関係を構築した。

○ がんセンター

がん医療については、平成18年8月に宮城県におけるがん診療連携拠点病院の指定を受け、院内に がんセンターを設置した。がんセンターでは、腫瘍外来や腫瘍会議を設け、最適な修学的治療方針 を患者に提示し、エビデンスを得るための臨床研究を進め、指導的ながん専門医あるいはがん医療 医に特化したコ・メディカルの育成、および治療成績の公表や啓発活動、相談受付を行っている。

○ 東北大学医学部地域医療支援機関

地域医療機関からの医師配置の要請に対応するため、これまで各医局単位で対応してきた地域医療の諸問題、特に医師配置の問題を大学病院として窓口を一本化して対応する機関として大学病院内に平成16年度に設置した。